

競技および審判上の注意

1 総合的な注意

- (1) 今大会は現行の日本バドミントン協会競技規則および同運営規定に準じて行われる。
- (2) 本部の指示があるまでは、コート内での練習は認めない。
- (3) ~~会場担当校は本部の指示がある場合、主審、ラインズマン、また、必要に応じて得点表示係を出すこと。~~
- (4) 競技開始の指示があつてから3分間以内にコートへ入らない場合は失格とする。
- (5) 主審は特にサーバー及びレシーバーにおける「フォルト」について判定しコールする。ただし、競技規則に関する訴えに限り、主審が判断できないものは、競技役員長（レフェリー）に確認する。サービスジャッジについては主審と競技役員長（レフェリー）が協議して、必要があると認めた場合に限り任命する。
- (6) ラインズマンは担当ラインについてシャトルが「イン」か「アウト」を判定する。
- (7) 試合中に審判上のことでトラブルが生じたときは、速やかに競技役員長（レフェリー）に報告を行い、その指示に基づいて行動する。
- (8) ゲーム途中（11ポイント）に60秒・各ゲーム間に120秒を超えないインターバルを認める。なお、インターバル時に指定区域内でアドバイスを受けることはかまわないが、コートには入れるのは同時に2名までとする。
- (9) 試合中のけがや病気の手当や処置について、コートに入ることを許されるのは、必要と認められる医療補助員と競技役員長（レフェリー）及び競技審判正副部長だけである。
- (10) 今大会はゲーム中の給水を条件付きで認めます。
 - ①容器は倒れてもこぼれないスライスポトル・ペットボトル等を使用する。 ※3（5）
 - ②クーラーボックスのフロア内持ち込みは禁止とする。
 - ③氷嚢の使用は、インターバル中のみとし、使用後は保冷バッグに入れる。
- (11) 背中に県名、校名を明記、または明記されたゼッケンを着用すること。
- (12) その他、開始式のときの諸注意を守ること。
- (13) 個人戦についてはベスト32決定までを簡易ゲームとし、ベスト16決めからは正規ルールとする。但し、ゲームの進行状況により変更する場合がある。
 - ・簡易ゲームのポイント 15点3ゲーム（2ゲーム先取、延長ゲームなし）
 - ・ファイトゲームの場合、どちらかの選手が8点を先取した時に、チェンジインを行う。
 - ・延長ゲーム、ゲーム中のインターバルは行わない。但し、ゲーム間に60秒を超えないインターバルを認める。

2 学校対抗戦の注意

- (1) オーダー用紙は指示があつたら、速やかに提出すること。
- (2) メンバー変更は、大会当日の監督会議時に受け付ける。（それ以降は認めない）
- (3) ベンチに入れるものはメンバー表に掲示されている監督、コーチ、マネージャー、選手のみである。
- (4) 運営上、2コート又は3コートで並行して試合を行うことがある。
- (5) 応援は拍手のみとし、うちわ等を使っての応援、リズムを取った手拍子、立ち上がったの応援は行わない。またベンチ及びギャラリーからのアドバイス、試合を行っている選手以外のコートへの立ち入り等は禁止する。
- (6) 先取マッチ（試合）方式で行う。

3 新型コロナウイルス対策

「新型コロナウイルス感染症に係る群馬県高体連主催事業等実施ガイドライン」及び「日本バドミントン協会ガイドライン」に沿った対策を講じるとともに、群馬県作成の「新型コロナウイルス感染症に係る県主催イベント等開催ガイドライン」に準じた対策を講じる。

- (1) 試合会場へ入場できる範囲は、選手、引率者、役員、医療スタッフのみとする。
- (2) 感染防止のため、消毒場所等を設ける。また、施設内の消毒を役員で定期的に行う。
- (3) 大会期間中は、マスクの着用（試合中は除く）や手洗い等、感染防止に努める。
- (4) 会場内外では、3密を避け、ソーシャルディスタンス及びフィジカルディスタンスを意識した行動をとる。
- (5) 水分補給用のボトルは、各自が用意したケース及びバッグに入れ使用し、ボトルをフロアに直接置かないこと。
- (6) その他、別紙『令和4年度 群馬県高等学校総合体育大会バドミントン競技大会開催に係わる配慮及び準備に係わる留意事項について』を確認し大会に参加すること。